

“シヤキツ”と新聞

西中PTA執行部 発行
責任者 高橋 敦志

心地よい春風を感じる季節となりました。本年度も残りわずかとなり、卒業式のシーズンを迎えます。子どもたちは進学や進級など、次のステップに向けて期待に胸を膨らませながらも、環境が変わるといふ事に不安を抱える時期でもあります。子どもたちが安心して一歩前へ進めるように、親として温かく見守っていききたいですね。

卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子さまの9年間の義務教育終了、おめでとうございます。これまで西中学校のPTA活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。これからは西中PTAのOBとしてご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●●● 早速ですが ●●●

お子さまのご卒業後、いらなくなった制服や体操服等がありましたら、リサイクル活動にご協力よろしくお願いいたします。

樹木剪定できれいになりました！

3月5日（土）昭和32年卒業のOBの方々の声掛けのもと、稲野小地区社協の方々、剣道部・陸上部の1、2年生、PTAにより正門周辺の樹木剪定を行いました。

生い茂っていた木々がすっきりと剪定され、とてもきれいになりました。皆さんのがんばりで、剪定枝が山のように高く積み上がりました。穴の開いていた地面の舗装もしていただき卒業式・入学式をすっきりとした気持ちで迎えられます。

お手伝いいただいた皆さま、ありがとうございました！

すっきりきれい
になりました



西中学校生徒会とPTA執行部交流会

2月12日(金)生徒会の皆さんとPTA執行部の交流会がPTA室にて行われました。事前に準備してもらった質問を基にPTAの活動内容や携帯電話の事、勉強の昔と今の違いなどの意見を交換しました。『保護者が生徒会にしてもらいたい事は何ですか?』という質問には子どもたちの成長を感じ、大人の一面を見せてもらいました。これからも生徒会とPTAが互いに協力できる関係作りをしていきたいと思えます。



会長のひとりごと



～ 旅立つ季節・感謝 ～

「三寒四温」という言葉がありますが、3月に入り、あつという間に春を感じさせる暖かい日が続くようになりました。今年ももう3月なんですね。あつ、「三寒四温」って言葉は、日本では本来、冬の気候の特徴を表した言葉だって知ってましたか?

そんな暖かかった3月5日の土曜日、1週間後に西中学校の卒業式を控えたこの日に、地域の方たちのご厚意により、西中の正門から校舎・体育館にかけての樹木剪定が行われました。登下校時にすっきりとした木々を感じ取った子どもたちもいたはずですが。樹木選定は、朝8時過ぎからお昼過ぎまで熱心に作業を行っていただきました。その作業の中心となっていた地域の方たちというのは・・・

昭和32年卒業生。そうです、西中学校卒業第8期生の大先輩の方々でした。

大先輩方は、今年、卒業する3年生に気持ちよく卒業してもらおうと、樹木をとおして降り注ぐ太陽の陽射しという気持ちのこもった素敵なプレゼントをしてくれました。そしてもう一つ、その作業には、西中剣道部のメンバーと途中から陸上部のメンバーがお手伝いしてくれました。大先輩と卒業する3年生を思う後輩たちが頑張っている姿を目にした時には感動とともに「感謝」という言葉が思い浮かびました。誰かのために無償の気持ちで力を出してくれている姿には敬意を表し、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました。

そんな素敵な温かい気持ちを感じながら、今年も西中3年生は、母校を旅立ちます。今年、私は西中の3年生にたくさんの感動をもらいました。だから一言伝えます。

西中学校を卒業する3年生のみんな!感動をありがとう!本当にありがとう!

卒業する君たちの未来に幸多からんことを!

(高橋敦志)

来月の“シャキッ”とする週間は4/18(月)～4/22(金)です。

新1年生を迎えて最初のシャキッと週間です。朝のあいさつ運動は8:10頃から正門付近で行っています。ぜひ皆さまご参加ください!